

1. 会社概要

企業理念 **みどりを「力」にする会社**

事業内容 ● 植物生産及び加工物流
● 室内及び屋上、壁面緑化の設計・施工・管理
● 植物のレンタル、グリーンディスプレイ
● 小売り向け植物及び関連資材の卸売
● 緑化資材開発、販売

建築許可 一般造園工事業（般-30）第27413号、特定建築・大
工工事業 内装仕上工事業（特-3）第27413号、一
級建築士事務所 東京都知事登録第63910号

所在地

- **本社**／愛知県豊橋市南大清水町
- **東京営業所**／東京都千代田区神田小川町
- **関東営業所**／埼玉県三郷市幸房
- **柏の葉農場**／千葉県柏市柏の葉
- **中部営業所**／愛知県名古屋市西区那古屋
- **関西営業所**／大阪府大阪市福島区福島

沿革

昭和58年	植物のハイドロカルチャー生産開始
昭和63年	緑化事業として会社を創業
平成2年	株式会社プラネット設立
平成28年	ナチュラルオーガニック栽培開始
令和3年	千葉大学との共同研究を締結、柏の葉農場にて生産開始

2. 社会貢献の取組 千葉大学共同研究

柏の葉キャンパスエリアは、国の第5次首都圏基本計画において**広域連携拠点に指定**されており、また、千葉県の長期ビジョンでは、**世界的な研究開発連携、新領域研究開発、知識集約型新産業の創造拠点**として位置づけられています。

- ①環境健康フィールド科学センター太陽光型植物工場温室2号棟
 - ・ハイドロカルチャー有機液肥循環栽培技術の確立
 - ・農福連携への取組みとして、緑化植物栽培技術の導入
- ②千葉大学、プラネット、エコグリーン協会（NPO法人）3社による障害者の屋内植物生産業務における作業環境・作業内容の最適化の研究

3. ソーシャルグリーンシステム事業について

事業概要：

株式会社プラネットは「みどりを力にする会社」を企業理念に掲げています。「みどりの力」とは、植物は空気浄化機能や、ストレス軽減など様々な効果や機能を有しています。では、人々や環境、あるいは社会に対しどのように活用すれば「みどり」が「力」になるのかと考えた時、まずは社会の課題に対して役立てることが重要だと捉えました。

事業名称を「ソーシャルグリーンシステム」と謳っている背景がここにあります。ソーシャルは社会的や社会課題を指し、グリーンはみどり、植物を示します。また、システムは、仕組みや体制、さらに制度への展望も込めた文言として使用し、これらの単語をそのまま事業名称としております。

(1) システム紹介

- 有機液肥×ハイドロカルチャーを
掛け合わせた栽培
- 苗はポット内で栽培するため、
移動が容易



さて、本事業は、植物を生産する設備を事業者様に導入していただき、生産科目のひとつとして、あるいは職域開拓のための訓練メニューとして、さらに企業活動におけるSDGsへの取組みとして、ご活用いただける設備です。

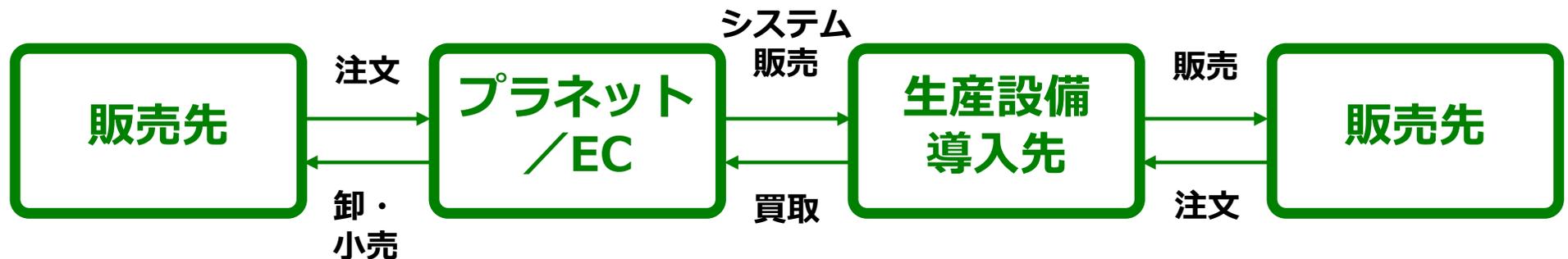
(2) 事業フローとスケジュール感



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
導入												
		生産	----->		生産	----->		生産	----->		生産	----->
				収穫			収穫			収穫		

(3) 生産、販売計画

- 生産品種：ミニバラ（10種類前後）、ベゴニア（生産試験中）
- 販売計画：エディブルフラワー需要、鉢ものの需要、加工品需要
 - ① プラネットによる買取
 - ② 自主製品として植物を販売
 - ③ 新商品企画の原材料使用
 - ④ 食育教材提供（小・中学校、特別支援学校）
 - ⑤ 食の楽しみ（老人介護施設）
 - ⑥ 地域内の都市緑化整備
 - ⑦ エシカル消費市場



(4) 作業内容



- ・ 水やり
- ・ 養液管理（濃度計測）
- ・ 枯葉取り（カビ対策、虫対策）
- ・ 生育観察

※作業マニュアルを整備、専門技術者による定期訪問指導

(5) 年間生産量の参考値（ミニバラの場合）

- ・ 生産設備仕様：4（m）×3（列）×3（段）⇒ 234（Pot）
- ・ 収穫サイクル：4（回／年）×234（Pot）⇒ 936（Pot）

※生育状況、生産ロスが生じるため実数値は減ります